

上田仮説サークルニュース	10月例会	2016. 10号
編集責任	遠藤 裕	発行2016. 11. 26
〒 383-0041 中野市岩船 426-3 サカゲテの中野 B-G TEL 0269-23-2847 携帯 090-1406-9115		
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp 勤務先 長野工業高校 TEL 026-227-8555		

10月22(土) 上田中央公民館 3F第1・第2会議室
午後 3:00 ~ 9:00



参加者数 6名 資料総ページ 57 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 渡辺規夫さん, 大塚浩文さん,
池田みち子さん, 遠藤裕

はじめに 10月例会の参加者は6名。

レポートは、増田さんから2本、柳沢さんから1本の合計3本の発表がありました。

増田さんの<今月の書評12>は32ページにもおよぶもの。ユダヤ人について深く考えさせてくれます。<渡辺：今月のお話5>は、昨年おこなわれた渡辺さんの講演から、<「仮説実験的認識論」の起源>の紹介です。「仮説実験的認識論」の起源は、板倉さんの<東大自然弁証法研究会での討論だったのではないかと渡辺さんは言っています。

柳沢さんは、読書メモで3冊の本を紹介してくれました。『黙示録』（岡田温司著）は4ページ、『マルティン・ルター』（徳善義和著）は2ページの紹介。両方とも宗教に関係するもの。『ルポ保健室』（秋山千佳著）では、養護教諭は日本独自の教育職で、他国には見られない職業だそうです。

今回、私（遠藤）はクラブ指導の関係で午後6時くらいからの参加になってしまいました。早くから参加していただいた参加者のみなさんにはご迷惑をおかけし申しわけありませんでした。

終了後は、大戸屋で夕食。

1. 発表資料

① サークルニュース 9月例会 遠藤 裕 (9ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 8月例会 遠藤 裕 (8ペ)
- ② <信州岩波講座2016>《講演「沖縄と日本」メモ》 増田伸夫さん(8ペ)
佐藤優氏の講演「沖縄と日本」のメモと「会場からの質問に答えて」。
- ③ <今月の書評11> [書評]「ユダヤ人」から米国の昔と今が見えてくる

増田伸夫さん（12ペ）

問題の予想を立てながら読む書評。

- ④ 【書き出しを指定した作文】をやってみました 坂口富雄さん（4ペ）

【書き出しを指定した作文】（『たの授』掲載）の生徒さんの作品の紹介。

- ⑤ 読書メモ2016年 8・9月 柳沢克央さん（4ペ）

－『物理学者が発見した米国ユダヤ人キリスト教の真実』ほか－

柳沢さんが8月、9月に読んだ本の紹介。

- ⑥ 民主主義と憲法 講師 牧衷 渡辺規夫さん（8ペ）

－運動論から憲法を考える－

牧衷さんの講演の要約版の紹介。

- ⑦ <渡辺：今月のお話2> 平和運動を考える

－平和運動の基礎理論としての仮説実験的認識論 増田伸夫さん（8ペ）

昨年の瀬戸市文化センターでの渡辺さんの講演の紹介（テープ起こし）

- ⑧ <渡辺：今月のお話4> 革命的な中味を改良主義的に拡げる

－牧衷運動論から学ぶ現状分析－ 増田伸夫さん（8ペ）

2. 体験講座

<コンデンサーの接続> 渡辺規夫さん作 講師：渡辺規夫さん

<宇宙から見た地球> 広島 入江洋さん作 講師 北村知子さん

- ② <今月の書評12> 増田伸夫さん（32ペ）

【書評】ユダヤ人の9割は改宗したカザール人だった！？

☆アーサー・ケストラー著 宇野正美訳

『ユダヤ人とは誰か 第十三支族・カザール王国の謎』

（三公社）定価：本体1922円（税別）

（1990年5月1日初版第1刷 2005年11月21日初版第12刷発行）

問題の予想を立てながら読む書評。問題は18問あります。

1. カザール王国
2. カザール人
3. ビザンチン・カザール軍事同盟
4. ユダヤ教改宗直前のカザール国王改宗騒ぎ
5. カザール人の信奉していた改宗
6. カザール王家の主なる収入源

7. カザール王国の統治システム
8. カザール王国のユダヤ教改宗の動機
9. サルケル砦をつくったわけ
10. マジャーール人
11. キエフの改宗と改宗以前の宗教
12. キエフ・ロシアの衰退の原因
13. ハンガリー王国の改宗と改宗前の宗教
14. ポーランドの改宗と改宗前の宗教
15. ポーランドへのカザール移住民
16. 西ヨーロッパにおけるユダヤ人の悲劇
17. スファラディとアシュケナージ
18. 「ユダヤ人種」

さてこの本の内容を一言でいえば、「この本は、ユダヤ人である著者（アーサー・ケストラー）が、〈ユダヤ人とは誰か〉をユダヤの神話や伝説ではなく、史料をもとに歴史事実から明らかにした本（明らかにしようと試みた本?）」ということになるだろうか。

そのあらすじはこうだ。「5～10世紀頃、南ロシア（コーカサス山脈の北、黒海とカスピ海の間辺り）の草原地帯にトルコ系民族カザール人の国があった。その国はキリスト教ビザンツ帝国とイスラム教アラブという2大勢力から圧迫を受けていたが、8世紀に〈キリスト教もイスラム教も受け入れず、両宗教の基礎となったユダヤ教に国ごと改宗する〉というウルトラ C によって自国の独立性を保持した。ユダヤ教に改宗しユダヤ人となったカザール人たちのほとんどは、モンゴル軍襲撃の難を避けて北へ移動し、ロシア、ポーランド、ドイツなどに定住したと考えるのが妥当だ。多くの研究史料から、じつはくいまの世界のユダヤ人の多くはこのカザール・ユダヤ人の末裔なのだ」と推定できる」と。

そうなる तोこれは、「ユダヤ人の歴史」や「ユダヤ人の起源」に関わる重大な発見となる。つまりこの本は、〈ユダヤ人はセム族（中東人）起源の人種〉という定説（旧約聖書の記述）を覆すことになる。するとそれは、ホロコーストの原因となった「反ユダヤ主義（反セム主義）」の根拠だけでなく、シオニストたちのイスラエル建国（ユダヤ人たちが住んでいたシオンの丘のあるイスラエルを奪回して、そこに自分たちの国を再建せねばならない）の根拠までも否定することになる。これはエライことだ。

だからこの本『The Thirteenth Tribe』が1977年に出版されたときは論壇で大きな話題となったが、その後論壇から急に葬り去られたというのもうなずける。

この本は、一神教の大本であるユダヤ教や、ユダヤ教を信じるユダヤ人について深く考えさせてくれた。ますます「一神教とは何か（多神教やシャーマニズムとは何が違う

のか)」を探ることがたのしくなってきた。

(増田)

(最初に著者と訳者の紹介もされています。カザール人・カザール王国という言葉は初めて知りました。増田さんは、この本を読んだきっかけを「一神教がよくわからない」ところからと言っていました。日本人というと日本列島という島に住んでいる人たちというのと違い、世界に散らばっていて歴史も複雑なユダヤ人というと、そのイメージはつかみにくいようです。 エドワ)

③ <渡辺：今月のお話5> 増田伸夫さん (8ペ)

「仮説実験的認識論」の起源

—板倉認識論と東大自然弁証法研究会— 渡辺規夫

渡辺規夫さんの講演の紹介。

2015/6/7 瀬戸市文化センターにて

テーマ④「牧衷運動論の有効性」より テープ起こし・編集：増田伸夫

◇間違えないことはできない (認識論の結論)

◇どの考え方が正しかったのかが一瞬にしてわかる

◇決着がつかない不毛な論争

◇ポテンシャル場とストレス場 (政治的論争)

◇「仮説実験的認識論」を発見した板倉さん

◇「仮説実験的認識論」の起源 (東大自弁研での討論)

<あとがき>

渡辺さんは「間違えることから逃れられない人間が、間違った考えを変えるための方法、それが仮説実験的認識論。その仮説実験的認識論を発見した人物は板倉さんで、板倉さんの仮説実験的認識論の起源は東大自然弁証法研究会での討論にあったのではないか」と話しています。「仮説実験的認識論の起源」についての言及はそれだけでも大変に興味深いですし、この仮説はかなり確からしいと思えます。(増田)

(また、渡辺さんは次のようにも言っています。人間は絶えず間違えるものだ。<間違えたことをどのように修正していくことができるか>という方法、それが「仮説実験的認識論」です。<仮説実験的認識論にもとづけば間違えない人間になる>ということではなくて、絶えず間違えるけども、間違えたこと素早く自覚して、<間違った考えを変えることができる>ようになるんです。エドワ)

④ 読書メモ2016年 9・10月 柳沢克央さん（8ペ）

－秋山千佳『ルポ保健室』ほか－

柳沢さんが9月、10月に読んだ本の紹介。

◇はじめに

いつもの「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく（適当に）おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。

（私物）と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校図書室蔵書。

◇読書記録または読書メモ（順不同）

◎岡田温司著『黙示録』（岩波新書 1472・2014年）

◎秋山千佳著『ルポ保健室』（朝日新書 576・2016年）

◎徳善義和著『マルティン・ルター』（岩波新書 1372・2012年）

◇まとめ

いま、この原稿を打っている化学研究室はグラウンドに面している。今日はクラスマッチ二日目。スピーカーが近いため、BGMが盛大に響いている。このBGMはなかなか強力で、深い思考とか読書への集中力を吹き飛ばしてしまう。AKB48と思われるテンポの良い曲の間に、水戸黄門のテーマ曲とか、石川さゆりの『津軽海峡冬景色』、美空ひばりの『川の流れのように』がかかっているのが笑えてくる。スポーツには何か似合わない気がするんだけど…。まあ、いいか…。

それでも、サークル例会に間に合わせるためには、何としてでも今日、この読書メモを仕上げておかなければならない！－と思いながら、必死に取り組んだ。さあ、一区切りついたので、次は授業教材の印刷にとりかかるところにしよう。「一カ月って長いようで本当にあっという間だな」ということを改めて実感。 （2016. 10. 20）

（『黙示録』の中で、スタンリー・キューブリックの『博士の異常な愛情』（1963年）という映画の内容が紹介されています。面白そうな映画で、観てみたい気がします。また、ニーチェの話も。『マルティン・ルター』では、ルターの言葉がナチスの反ユダヤ主義の宣伝に利用されたという話が。

エトワリ

あとがき 11月に入り今週（24日（木））には雪が降りました。冬の備えは大丈夫でしょうか。

10月例会では、参加が遅くなり出席者のみなさんにはご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。サークルで、渡辺さんが電気屋さんに「200Vのエアコンを勧められた」という話がありました。古い家の配電は単相二線式で、新しい家は単相三線式の配電になっているようです。単相三線式は、100Vの線が2本、中性線が1本で、100Vを2本使うと200Vとなり、200Vの家電製品が使用でき、電流を小さく押さえることができるメリットがあるようです。（次回までにもう少し詳しく調べておきたいと思います。）

（エンドウ）

★ 今後の予定 ★
12月17日（土） 1月28日（土） 2月25日（土）

[連絡] 12月例会終了後、忘年会を予定!!

<忘年会のご案内>

日時：12月17日（土）午後6：30～（例会終了後）

会場：「なぶら」 上田市天神4-24-1

上田駅温泉口 東急REIホテル1F TEL0268-24-1401

会費：5000円

申込み：渡辺規夫さんまで（携帯またはメールアドレスへ）

携帯 090-4960-6859

メール nwkase@yahoo.co.jp

